

消 息

日本医史学会福岡地方会発足報告

第九十八回日本医史学会総会（福岡県医師会主催）を福岡で開催するにあたり、我々福岡在住の医史学会会員は、その約二年前より開催準備に取り掛かった。それと時を同じくして、長年の念願であった医史学会総会の福岡での開催を記念して、医史学展（タイトル・近世の医学と福岡の医家）を企画した。そして、総会開催と医史学展の準備会合を重ねるうちに、これを契機に支部的組織を創ろうという気運が高まっていった。

学会本部や会員各位のご支援のお陰で十月の総会は無事終了し、医史学展にも延べ三万八千人余の入場があり、こちらも成功裡に終えることができた。そうこうするうち本年になって、西暦二〇〇三年の日本医史学会総会の福岡開催が本決まりになったことから、その第一分科会である日本医史学会を福岡の会員の手で主催すべく、「福岡地方会設立」が一举に具体化したのである。

かくして平成十年四月二十六日、福岡市天神の都久志会館において「福岡地方会発足の日」を迎えることになった。当

日は順天堂大学の酒井シヅ教授にはお忙しいなかを東京から駆けつけていただき、会員一同いたく感激した次第である。同日午後一時より設立総会を行い、冒頭に酒井教授と長崎からお越しいただいた中西啓先生にご祝辞をいただいた後、会長に原敬二郎氏（近世の医学と福岡の医家展「開催準備委員長」）を選出し、さらに諸役員を決定した。

この後引き続き会員による七題の一般演題「一・医史学研究の先駆者 岩熊哲について（佐藤裕）、二・第十五代將軍徳川慶喜の奥医師の生誕地とその周辺（木村専太郎）、三・リヨンにおける医学小史オテル・デューとシャリテ（小林昶）、四・豆腐の害についての益軒の大和本草と李時珍の本草綱目との相関（原敬二郎）、五・筑後久留米藩軍艦千歳丸と藩医中山元朴―西郷従道、長州藩桂太郎らと北越征討へ―（中山茂春）、六・訪欧雑感 マールブルグ大学、ボローニヤ大学（富田達夫）、七・福岡藩奥藩医龜鑑について（木下勤）」の発表の後、教育講演として九州大学のミヒエル教授が「初期紅毛流医学の諸問題について」を、最後に特別講演として奥村武氏が「福岡藩における本草学者内海蘭溪を背景とした蘭方医学の勃興」を口演し、記念すべき設立総会を締めくくった。酒井教授と中西先生には総会終了後の小宴にも御出席いただき、「福岡地方会の今後の発展を大いに期待する」とのエールを贈っていただいた。支部昇格を目指して、また第一〇三回医史学会を主催すべく、産声をあげたばかりのこの福岡地方会をより一層盛り立てていこうと、会員一同決意を新たにしたい。

であった。

言うまでもなく本地方会の発展には我々地方会員の努力は言うに及ばず、学会本部や先輩支部地方会との密接な連携が不可欠です。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成十年七月

(文責 福岡地方会幹事 佐藤 裕)

国際シンポジウム

「21世紀を迎える精神医学史——東西二十年の精神医学」

共催・講演：世界精神医学連合「精神医学史」部会、ヨーロッパ精神医学史学会、日本精神医学史学会

International Symposium “History of Psychiatry on the Threshold to the 21st Century——Two Millennia of Psychiatry in West and East”, held under the auspices of the Section “History of Psychiatry” (Chairman: C. Cahn/Canada) of the World Psychiatric Association (WPA), the European Association for the History of Psychiatry and Mental Health Care (EAHP: A. Graf-Nold, V. Barras, J. Gasser/Switzerland), and the Japanese Association for the History of Psychiatry (Chairman: M. Matsushita/Tokyo)

日時 一九九九年三月二十、二十一日(土、日)

場所 名古屋市立大学医学部研究棟講堂

シンポジウムの主要テーマ(一般演題、ポスターも歓迎)とプ

ナリー・セッション演者(1)西欧の古代、中世、ルネサンス、近世、近代の精神医学、(2)中国伝統医学と精神医学、(3)日本の伝統医学・近代医学と精神医学、その他

V. Barras (Lausanne 大学)・G. Berrios (Cambridge 大学)・J. Pigeaud (Orvault 大学研究所)・H. Schott (Bonn 大学)・その他(日本側演者を含む)

学術委員会 C.H. Cahn (Montreal), D.v. Engelhardt (Lübeck), H. Reeman (Oxford), J. Gasser (Lausanne), M. Laharie (Pau), Liao Yugu (Peking), O. Marx (New Hampshire), V. Roelke (Bonn), T. Turner (London), P. Vandersmeersch (Groningen), 浅井昌弘(慶応)、藤縄 昭(京都)、濱中淑彦(名古屋)、波多野和夫(千葉)、飯田 真(新潟)、岩田 誠(東京)、影山任佐(東京)、松下正明(東京)、真柳 誠(茨城)、中谷陽二(東京)、岡田靖雄(東京)、酒井明夫(岩手)、酒井シヅ(順天堂)、杉立義一(京都)、鈴木晃仁(慶応)、高橋 昭(名古屋)、山口成良(金沢)

地元組織委員会・事務局 名古屋市立大学精神医学教室(代表：濱中淑彦)

〒467-8601名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1 Tel:〇五二一八五三一八二七一一 Fax:〇五二一八五二一〇八三七